

第5回 東アジア U-22 ハンドボール選手権 試合結果・戦評報告書

競技日	7月1日(土)	試合番号	W8		
種別	女子	会場	花巻市総合体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
日本			香港		
得点合計	小計		小計	得点合計	
47	21	前半	4	10	
	26	後半	6		

戦評

香港(HKG)のスローオフで試合開始。前半、日本(JPN)は積極的な6:0 DFが機能し、相手のパスミスやシュートミスを速攻につなげる。③中山や④尾辻らがよく走り得点を量産、8連取とHKGを圧倒する。対するHKGは⑩WUや⑫LEUNGらが、局面を打開しようと攻撃を試みるがなかなか得点できない。前半途中からメンバーを交代しながらも、運動量が落ちないJPNが21-4と大量リードで前半を終了する。

後半少しでも点差を縮めたいHKGは、積極的にメンバー交代を行いながらゴールを狙うもののJPNのDFを崩すことができず、逆に点差をつけられてしまう。JPNはDFシフトを様々変更しながらも、持ち味である機動力を活かして積極的に守り速攻につなげるというスタイルを貫き通した。攻守にわたり圧倒したJPNが47-10で勝利し、優勝に向けて一縷の望みをつないだ。一方、点差がつきながらもあきらめることなくゴールに向かったHKGチームに称賛を送りたい。



いわて花巻